

## ズワイガニ漁期前資源調査を実施

11月6日から底曳網によるズワイガニ漁が解禁されます。そのため、府内の底曳網漁業者が効率良く漁を行うことができるよう、海洋調査船「平安丸」で毎年8～10月にかけて府沖合に生息するズワイガニの分布状況を調査しています。この調査では、カニ籠により採集したズワイガニの甲羅やはさみの大きさなどを測定するとともに、移動や生残りを調べるために標識を装着して放流しています。加えて、今年はモモガニ\*の分布状況も調査しています。モモガニの状態では商品価値が低いですが、2年以内には脱皮を終えていずれはカタガニ（成熟した雄ガニ）になり、商品価値の向上が期待されます。したがって、モモガニを保護することにより、カタガニの漁獲量および生産額が向上すると考えられます。今後は、モモガニの漁獲および分布実態を把握し、効果的な管理方法を検討していきます。

調査終了後には、府内の底曳網漁業者を対象に結果を報告する予定です。

※モモガニ：脱皮時期に脱皮せず、はさみが小さく甲羅の硬い未成熟な雄ガニ。



餌のサバを取り付けたカニ籠をズワイガニ漁場（水深230～300m）に投入



採集されたズワイガニの甲羅やはさみの大きさを計測